



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月25日

上場会社名 株式会社カインズ
 コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 林司
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3816-4123

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	985	△22.2	79	△56.3	93	△42.0	58	△31.1
29年3月期第1四半期	1,266	△2.8	182	41.4	160	12.5	85	△8.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	14	07	—	—
29年3月期第1四半期	20	43	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
30年3月期第1四半期	5,645	—	3,649	—	64.6	873	16	
29年3月期	5,803	—	3,642	—	62.8	871	52	

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 3,649百万円 29年3月期 3,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	2,200	△6.6	150	△38.9	145	△35.5	100	△31.8	23.92
通期	4,600	△2.2	350	△26.3	340	△27.4	235	△24.1	56.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	4,558,860 株	29年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	378,810 株	29年3月期	378,810 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	4,180,050 株	29年3月期1Q	4,180,192 株

(注) 期末自己株式には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式(30年3月期1Q 278,000株、29年3月期 278,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期1Q 278,000株、29年3月期 245,333株)

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

	頁
1 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、前事業年度に引き続いて設備投資が拡大したことから、企業収益では緩やかな改善傾向を示しました。

一方、海外経済においては、米国の政権運営及び欧州での英国のEU離脱などの影響も憂慮されており、引き続き予断を許さない状況で推移するものと思われまます。

臨床検査薬業界におきましては、市場自体は横ばいから微増ながらも、価格競争等により引き続き厳しい状況は継続しております。

このような環境の下、当第1四半期累計期間の売上高につきましては、9億8千5百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

検査分野別で見ると、生化学検査分野におきましては、肝機能検査試薬及び腎機能検査試薬が堅調に推移したことにより4億7千8百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

免疫検査分野におきましては、輸血検査試薬が堅調に推移する一方、アレルギー検査試薬が競合品の影響を受けたことにより4億7千8百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

また、その他の分野におきましては、特許期間が終了したため、ロイヤリティ収入が無くなり2千8百万円（前年同期比75.7%減）となりました。

この結果、営業利益につきましては、7千9百万円（前年同期比56.3%減）、経常利益につきましては、9千3百万円（前年同期比42.0%減）となり、四半期純利益につきましては、5千8百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第1四半期累計期間 〔自平成28年4月1日 至平成28年6月30日〕		当第1四半期累計期間 〔自平成29年4月1日 至平成29年6月30日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	419,269	33.1	459,279	46.6
	免疫血清学的検査用試薬	270,945	21.4	218,896	22.2
	そ の 他	119,187	9.4	22,131	2.2
	計	809,402	63.9	700,308	71.0
商 品	生化学的検査用試薬	20,639	1.6	18,986	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	437,526	34.5	259,956	26.4
	そ の 他	△926	△0.1	6,568	0.7
	計	457,240	36.1	285,510	29.0
合 計	生化学的検査用試薬	439,908	34.7	478,266	48.5
	免疫血清学的検査用試薬	708,472	55.9	478,852	48.6
	そ の 他	118,261	9.3	28,699	2.9
	計	1,266,642	100.0	985,818	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の額は、56億4千5百万円となり、前事業年度末と比べ1億5千7百万円減少いたしました。流動資産は26億7千7百万円となり、前事業年度末と比べ1億3千6百万円の減少となりました。その主な要因は、たな卸資産が4百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1億2千3百万円、繰延税金資産などその他が2千1百万円減少したことによります。固定資産は29億6千8百万円となり、前事業年度末と比べ2千1百万円の減少となりました。その主な要因は、減価償却の進捗などによるものです。

当第1四半期会計期間末における負債の額は、19億9千6百万円となり、前事業年度末と比べ1億6千4百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金が1億9千万円増加したものの支払手形及び買掛金が5千2百万円、未払法人税等が6千9百万円、賞与引当金が6千1百万円、長期借入金が1億円及び流動負債のその他が7千3百万円それぞれ減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における純資産の額は、36億4千9百万円となり、前事業年度末と比べ6百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の配当により5千5百万円減少したものの、四半期純利益5千8百万円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、前事業年度に引き続き金融緩和等の経済効果により、緩やかに改善していくものと思われませんが、海外では欧州や中国などの財政問題等による為替相場をはじめとした影響も懸念されており、今後の景気回復につきましては依然不透明な状況にあります。

当社におきましては、生化学検査分野では、主に腎機能検査試薬の改良品をはじめとした血清マルチキャリブレーター項目の拡販、免疫検査分野では輸血関連製品などの積極的な拡販を図っております。

第 2 四半期以降につきましては、平成 29 年 5 月 10 日付「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせしました第 2 四半期累計期間及び通期業績の予想は、変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201,838	1,205,829
受取手形及び売掛金	1,061,759	937,979
商品及び製品	254,264	248,009
仕掛品	57,666	59,705
原材料及び貯蔵品	148,502	157,590
その他	92,571	71,442
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,813,702	2,677,656
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	682,489	671,662
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	214,957	173,089
有形固定資産合計	2,748,899	2,696,205
無形固定資産	13,576	39,705
投資その他の資産	227,257	232,321
固定資産合計	2,989,732	2,968,232
資産合計	5,803,435	5,645,889
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	504,235	451,755
短期借入金	600,000	790,000
未払法人税等	76,607	7,317
賞与引当金	116,080	54,200
その他	410,268	336,887
流動負債合計	1,707,191	1,640,160
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
役員株式給付引当金	—	5,637
その他	53,258	50,255
固定負債合計	453,258	355,893
負債合計	2,160,450	1,996,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	2,045,580	2,048,649
自己株式	△223,303	△223,303
株主資本合計	3,582,423	3,585,493
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,561	64,342
評価・換算差額等合計	60,561	64,342
純資産合計	3,642,984	3,649,836
負債純資産合計	5,803,435	5,645,889

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,266,642	985,818
売上原価	675,180	524,556
売上総利益	591,462	461,262
販売費及び一般管理費	409,420	381,797
営業利益	182,042	79,464
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,920	3,243
為替差益	—	13,108
その他	867	330
営業外収益合計	3,788	16,683
営業外費用		
支払利息	2,982	2,492
手形売却損	177	146
為替差損	21,180	—
その他	727	189
営業外費用合計	25,067	2,828
経常利益	160,762	93,320
特別損失		
固定資産除却損	8,049	—
特別損失合計	8,049	—
税引前四半期純利益	152,713	93,320
法人税、住民税及び事業税	3,030	5,524
法人税等調整額	64,300	29,000
法人税等合計	67,330	34,524
四半期純利益	85,383	58,795

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。